

静かな空を
平和な空

厚木爆同と一緒に 活動しませんか

入会のしおり

厚木基地爆音防止期成同盟
(厚木爆同)

航空機による騒音被害の状況

- 厚木基地
- 90W値区域
- 85W値区域
- 80W値区域
- 75W値区域
- 固定翼機事故危険ゾーン

学校 病院 公園

網かけした部分は国が決めた騒音被害エリア。黄色の枠部分は米軍の安全基準エリア。日本では適用されていない。

WECPNL値75以上の区域内の大きな病院、小中高大学、公園をマークしました。保育園・幼稚園は更に多くありますが表示しませんでした。

●辻堂駅
●藤沢駅



米国内での安全基準では、住宅があってはならない危険地域に、厚木基地周辺では住宅はもちろん学校・病院・鉄道・駅などがあり、多くの市民が生活している事実が注目されます。

厚木爆同とは

厚木基地爆音防止期成同盟(略称厚木爆同)は、1960年9月、爆音のない静かな空を求める住民が集まり、結成された住民団体で大和市、綾瀬市、座間市、海老名市、相模原市、藤沢市、町田市に支部があり、会員世帯数は約1,600世帯です。



厚木基地正門前で飛行差止を要求

厚木爆同の活動の成果

1. 「厚木飛行場周辺の航空機の騒音軽減に関する措置(協定)」を全国に先がけて実現させた。
2. 基地周辺の自治体に対し、生活環境整備の法律を制定させた。
3. 厚木基地の騒音への対策として要求してきたNHKテレビ受信料の一部地域での半額助成を勝ち取る。現在75W値コンター以上の地域の全額助成を要求。
4. NLP(夜間連続離着陸訓練)を硫黄島へ全面移転させた。
5. 第四次厚木基地爆音訴訟において、地裁と高裁で、初めて自衛隊機の早朝・夜間飛行差し止めを勝ち取った。



第四次訴訟で初の飛行差止判決

厚木基地の現状

2018年3月、厚木爆同の地道な運動の成果もあり、米空母艦載機の岩国基地への移転が実現した。100dBを越えるひどい爆音は減少した。



厚木基地に飛来する海兵隊ヘリコプター

しかし、米軍のヘリコプターは相変わらず低空を飛行し、自衛隊のP3CやP1などの哨戒機は基地周辺上空を旋回し、騒音回数は年間15,000回を超え、騒音被害は解消されていない。



ひどい爆音をまき散らす米空母艦載機

本来であれば移転によって使われなくなった施設や土地は返還されるのが筋だと私たちは考えている。

しかし、米軍は空いた基地を利用し新しい訓練を展開している。ヘリコプターや輸送機から物資を



3機続いて飛来するオスプレイ

投下する訓練、米軍パトリオット部隊のミサイル訓練、CBRN（化学・生物・放射線・核）対応訓練、そして日米合同訓練も多く行われその際の補給、整備の拠点としても使用されている。



民家の真上を飛ぶP1哨戒機

厚木基地所属ではない外来機も多く飛来するとともに、欠陥機といわれる米軍のオスプレイは厚木基地に隣接する民間の工場が整備点検を行うため、点検飛行などで、厚木基地周辺上空を飛び回る。

その上、基地周辺の川や地下水の汚染（有機フッ素化合物・PFOS, PFOA）などが問題視され、次から次と基地の存在による被害が起こっている。



米軍パトリオット部隊の訓練

「厚木爆同」って どんなことやっているの？

「爆音をなくせ！」と声をあげましょう

厚木基地周辺300万人もの市民が生活している人口密集地の上空で軍事飛行訓練を行うこと自体が異常なことです。市民の声が大切です。一緒に米軍や自衛隊に抗議の声をあげましょう。

飛行差し止めと損害賠償を求める裁判を支援

国・防衛省を相手に「爆音をなくせ！」と厚木爆同が中心となって訴えた過去の裁判で「厚木基地の爆音は違法状態にある」との判決が示され、原告に損害賠償金が支払われました。現在第五次の裁判が行われています。（2022年現在）厚木爆同はこの裁判に勝訴するよう支援をしています。

爆音被害対策・NHK受信料問題

米軍機や自衛隊機の飛行により「テレビやラジオの音声が届かない」などの被害があります。爆音被害対策として、厚木爆同は大和市域などにNHK受信料の半額助成を制度化させてきましたが、さらに爆音被害地域に全額助成を国に求める運動をすすめています。

部品落下や環境汚染防止を求め、安全・安心な暮らしのための要請活動

厚木基地の存在による被害は爆音だけでなく、部品落下や環境汚染などもあります。私たちは米軍・政府に抗議や要請を行っています。

入会をお待ちしています

会報を年5回発行。学習会・近隣基地見学会等実施。年会費(世帯)2,040円。



厚木基地爆音防止期成同盟

〒242-0028 大和市桜森3-5-3フォント1F

☎ 046-240-7450 Fax 046-261-5615

HP atsugibakudou.com E-mail bakudou@kanagawa.email.ne.jp

入会申込書

氏名

住所

電話